

日本共産党オンライン演説会 in 岐阜

—菅政権退陣、本気の共闘で政権交代を—

## メッセージ

標記演説会の開催にあたり、「ピースハートぎふ」の代表として、祝辞と今後の活躍への期待を述べさせていただきます。「ピースハートぎふ」は、貴党ら立憲野党4党と市民団体である「岐阜総がかり行動実行委員会」とで構成し、「市民と野党の共闘」を目指しています。

ところで今、自民党総裁選挙がマスコミに溢れています。本来ならば野党が要求した臨時国会を開き、新型コロナウイルス対策や財政立て直しを議論し、進めて行くべきときです。それが責任ある政党のなすべきことですが、井戸の中の「嵐」に埋没しています。また立候補している4名はいずれも、これまでの「国民不在」「強権政治」などへの総括や反省もなく、アベ政治路線に忖度し続けています。国民の命と暮らしを守るというより、格差と貧困には目をつむり、資本家や富裕層優遇の政治を続けようとしています。

しかし、全国各地で、「もう自公政権には任せられない」「命と暮らしを守る政治に変えよう」という国民の声や機運が極めて大きくなっています。その機会が10ないし11月の衆議院議員選挙であります。立憲野党間でも、政策の共有や候補者の一本化に向けた努力が進められています。そのためには市民団体である「岐阜総がかり行動実行委員会」も最大限の努力をしていくものです。そんな中で、私たち市民ができることの一つが「投票に行こう」と呼びかけることです。これまで投票しなかった人の1割でも投票に行けば、「命と暮らしを守る政治に変える」ことができるのです。まさに、「一票一揆」です。「郡上一揆」「大原騒動」などを闘った岐阜の地で、何としても「一票一揆」を起こしたいのです。

課題はいろいろとありますが、「市民と野党の共闘」「本気の共闘」を実現し、「命と暮らしを守る政治」を実現しましょう。

日本共産党には、その闘いの先頭に立っていただくことを心より願います。どうぞよろしく願いいたします。

2021年9月26日

「ピースハートぎふ」代表 河合良房